

## 最近の調剤医療費（電算処理分）の動向 平成 25 年 2 月

### ○ 概要

(1) 平成 25 年 2 月の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 5,386 億円（伸び率（対前年度同期比、以下同様。）▲2.0%）で、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 8,470 円（伸び率 1.3%）であった。（→P.1~2）

調剤医療費の内訳は、技術料が 1,382 億円（伸び率▲0.2%）、薬剤料が 3,995 億円（伸び率▲2.7%）で、薬剤料のうち、後発医薬品が 423 億円（伸び率 13.9%）であった。（→P.4）

3要素分解 （→P.8-9）	処方せん1枚当たり 薬剤料	処方せん1枚当たり 薬剤料種類数	1種類当たり 投薬日数	1種類1日当たり 薬剤料
実数	5,190円	2.91種類	20.7日	86円
伸び率（%）	▲0.2	▲0.8	+5.8	▲4.9

(2) 薬剤料の約 85%を占める内服薬（3,301 億円（伸び幅（対前年度同期差、以下同様。）▲119 億円）を薬効大分類別にみると、21 循環器官用薬が 856 億円（伸び幅▲68 億円）と総額が最高で、39 その他の代謝性医薬品が伸び幅 13 億円（総額 398 億円）と伸び幅が最高であった。（→P.10）

年齢区分 （→P.10~13）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1位	2位	3位
全年齢	3,301 億円 （▲119 億円）	21 循環器官用薬 （856 億円）	11 中枢神経系用薬 （508 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（398 億円）
0歳以上 5歳未満	43.7 億円 （▲7.37 億円）	44 アレルギー用薬 （16.1 億円）	61 抗生物質製剤 （11.8 億円）	62 化学療法剤 （6.7 億円）
5歳以上 75歳未満	2,119 億円 （▲92 億円）	21 循環器官用薬 （535 億円）	11 中枢神経系用薬 （326 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（269 億円）
75歳以上	1,138 億円 （▲20 億円）	21 循環器官用薬 （321 億円）	11 中枢神経系用薬 （182 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（128 億円）

(3) 処方せん 1 枚当たり調剤医療費を都道府県別にみると、全国では 8,470 円（伸び率 1.3%）で石川県（10,788 円（伸び率 0.4%））が最高で、佐賀県（7,188 円（伸び率 2.5%））が最低であった。

また、伸び率は群馬県（伸び率 4.4%）が最高で、福井県（伸び率▲4.4%）が最低であった。（→P.25~26）

## 《《後発医薬品の使用状況について》》

【後発医薬品薬剤料】423 億円（伸び率：13.9%、伸び幅 52 億円）（→P.34）

【後発医薬品割合】（→P.33）

	後発医薬品割合	伸び幅
数量ベース	29.5%	+5.4%
薬剤料ベース	10.6%	+1.6%
（後発品調剤率 <sup>注</sup> ）	54.2%	+3.6%

注）全処方せん枚数のうち後発医薬品を調剤した処方せん枚数の割合

【後発医薬品 年齢階級別】（→P.34~35）

	全体	最高	最低
後発医薬品薬剤料の伸び率	+13.9%	+23.4% （20歳以上 25歳未満）	▲3.0% （5歳以上 10歳未満）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.6%	11.6% （65歳以上 70歳未満）	6.4% （5歳以上 10歳未満）

【後発医薬品（内服薬） 薬効分類別】（→P.36~37）

	全体	最高（薬効大分類）
総額	377 億円	96 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び幅	+50 億円	+13 億円（11 中枢神経系用薬）
総額の伸び率	+15.5%	+58.6%（44 アレルギー用薬）

年齢区分 （→P.36~40）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1位	2位	3位
全年齢	377 億円 （+50 億円）	21 循環器官用薬 （96 億円）	23 消化器官用薬 （72 億円）	11 中枢神経系用薬 （38 億円）
0歳以上 5歳未満	3.4 億円 （▲0.11 億円）	22 呼吸器官用薬 （1.15 億円）	61 抗生物質製剤 （0.88 億円）	44 アレルギー用薬 （0.66 億円）
5歳以上 75歳未満	241 億円 （+32 億円）	21 循環器官用薬 （63 億円）	23 消化器官用薬 （42 億円）	44 アレルギー用薬 （29 億円）
75歳以上	132 億円 （+19 億円）	21 循環器官用薬 （33 億円）	23 消化器官用薬 （30 億円）	11 中枢神経系用薬 （16 億円）

【後発医薬品 都道府県別】（→P.50~54）

	全国	最高	最低
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料	664 円	963 円（岩手県）	511 円（徳島県）
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料の伸び率	+17.8%	+26.2%（千葉県）	+8.7%（沖縄県）
後発医薬品割合（数量ベース）	29.5%	42.3%（沖縄県）	24.8%（徳島県）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.6%	14.0%（沖縄県）	8.0%（徳島県）
後発医薬品調剤率	54.2%	67.7%（沖縄県）	48.0%（東京都）

〔利用上の留意点〕

(1) 分析対象レセプトの特徴

- 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）において、レセプト電算処理システムで処理された調剤報酬明細書のデータを分析対象としている。
- 平成 25 年 2 月現在の電算処理割合は、処方せん枚数ベース、医療費ベースともに約 99%である。

(2) 表章期間

- 平成 16 年 10 月調剤分からデータは収集しているが、伸び率の分析を主眼としているため、統計表上の表章期間は平成 17 年 10 月以降とした。